2025 年度

SGT　活動レポート

中 2 陶芸講座
B 班　第 3 回

7 月 3 日（水）、中学 2 年生よる陶芸講座の 3 回目が行われました。今回は、釉がけです。1280 度で素焼きした鉢と装飾に釉薬を付けて本焼します。本日は本焼前の最後の行程となります。まず撥水材を鉢の底面に塗ります。陶磁器の器は、底面に何も付けずそのまま焼かれていますが、鉢も同じです。但し、鉢の場合は、中に土を入れるため内側も撥水材を塗らなくてはいけません。そのため釉薬が浸透しないように底面や鉢の内側に筆を使い、撥水際を塗ります。撥水材が乾いたら釉薬が入った樽に作品を 3 秒間漬けます。撥水材を塗った部分は、釉薬がつかずそのまま仕上がります。釉薬は、3 色あり生徒たちは自由に選ぶことが出来ます。制服に付くと洗濯をしても落ちない色もあるためポンチョ型のレインコートを着てから釉薬に浸けました。次に装飾品に釉薬を塗っていきます。細かいところは筆を使って塗っていきます。鉢と装飾品の両方とも釉がけしたら本日の作業は終了です。出来上がった作品は、本校の電気窯を使い 1230 度で本焼します。4 回目は、それに植物を植えて鑑賞会を行う予定です。

次回は 9 月 10 日（水）です。出来上がりが楽しみですね。

本日の作業について説明を聞きます。

800 度で素焼きした鉢と装飾品です。

林檎先生が底面に撥水材を筆で塗るように説明しています。

まず鉢の底面に撥水材を塗ります。

仕上がりを予想し、丁寧に塗っていきます。

内側にも撥水剤を塗ります。

釉薬の入った樽に作品を 3 秒つけます。

装飾品でも比較的大きなものは、釉薬に浸けます。

撥水材を塗ったところに付いた釉薬をスポンジで洗い落とします。

装飾品でも小さな作品は、細かいところまで筆で釉薬を塗っていきます。

仕上がりを考えると、手が抜けません。

装飾品を釉がけしたものです。

釉薬にもさまざまな色があります。

鉢も仕上がりました。